

2021年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものです。
2021年度は、塾長賞に2件2名が選ばれ、3月の学部卒業式において表彰されました。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長 学生総合センター長・法学部教授

田上雅徳
たのうえまさよくなる

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動など、正課以外の幅広い分野において、めざましい業績を挙げた塾生を表彰するものです。表彰の基準は、その業績が「慶應義塾の存在自体の光輝となるもの」かどうかという点につきます。

2021年度は6件が推薦され、慎重な選考の結果、2件2名が塾長賞の栄誉に輝きました。菅原千尋君（法学部4年）は、そのオリジナル脚本が第21回テレビ朝日新人シナリオ大賞コンクールで高く評価され、1453通を数えた応募作の中で大賞を獲得しました。関根摩耶君（総合政策学部4年）は、アイヌ語及びアイヌ文化の普及活動に取り組み、各種メディアへの出演、YouTubeでの情報発信、講演等を通じて、日本における多文化共生社会の構築に積極的な役割を果たしました。いずれの業績も個性にあふれ、卓越しており、先に示した表彰基準を十分に満たすものです。塾長賞審査委員会も満場一致で菅原・関根両君を、表彰に値すると認めました。

塾生諸君には、大学生活、またその後の人生をより豊かなものとするべく、今回の受賞者に続いて、学業以外の分野においても自己を磨き、さまざまな領域で「光輝」を放つ存在となることを期待しています。



塾長賞

■ 第21回テレビ朝日新人シナリオ大賞 大賞受賞



法学部4年 すがわちちひろ
菅原千尋君

オリジナル脚本が、プロの脚本家の登竜門といわれるコンクールにおいて、高く評価されました。学業との両立をおろそかにすることなく成し得た業績は、同君のたゆまぬ研鑽の賜物であり、慶應義塾の誇りとするところです。

「栄誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。推薦して下さった教授をはじめ、応援して下さった方々に感謝申し上げます。この賞を励みに、今後とも精進してまいります」

■ アイヌ語及びアイヌ文化の普及活動による社会への貢献



総合政策学部4年 せきねまさゆき
関根摩耶君

アイヌ民族出身である自身の背景から、アイヌ語及びアイヌ文化の普及に取り組み、各種メディアへの出演等を通じて、日本における多文化共生社会の構築に大きな役割を果たしました。社会全体にも影響を与えた活動は、慶應義塾の誇りとするところです。

「多くの友人、そして家族や地元の方々にも恵まれていることをあらためて感じられた4年間でした。賞に恥じぬようこれからも頑張ります！ イヤイライケレ!!!」

塾長奨励賞

該当なし

※学年はいずれも受賞時